

キラリと光るダイセル製品のお得情報が満載！
キラきら情報通信@ダイセル



“播磨”を知ってもらいたい！

開発営業部 むらずみ

皆さん、今回は私が生まれ育った「播磨」(はりま)を紹介します。

第1回目の今回(勝手にシリーズにしていますが編集長に次回はボツにされるかも知れません)は、「播磨ってどこ?」・「播磨と日本酒」の2つのテーマについて紹介します。

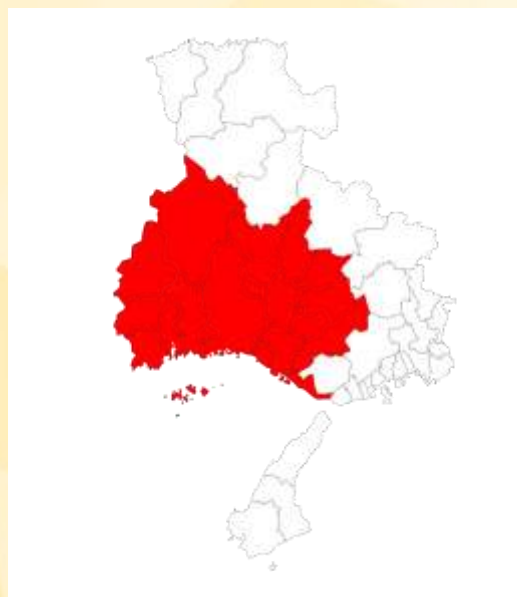
ちなみに、私自身は播磨灘(瀬戸内海)にある小さな島の生まれで、見渡す限り海、遊び場も海、学校にはプールがない(当時)、信号機もない(当時)という皆さんのイメージ通りの田舎の島です。

播磨ってどこ？

さて、そもそも播磨とは、旧国名で「播磨の国」というのがありました。兵庫県南西部で、東から明石市・加古川市・姫路市・相生市・赤穂市があり、北には神崎郡・西脇市や宍粟市なども含まれます。播磨の地方を播州とも呼び、このあたり一帯は播州平野と呼ばれています。ちなみに播磨に面する瀬戸内海を播磨灘と言います。言葉は、「播州弁」を話します。播州弁はいろんな方から、「汚い、怖い」とよく言われて困ります。

日本酒のふるさと“播磨”

なんと日本酒は播磨で生まれたそうです。(諸説あります)1300年前の奈良時代に編纂された「播磨国風土記」の中でも記載されており「日本で初めて麴を用いて日本酒を造った」とのこと。また、日本酒用のお米として有名な「山田錦」も播磨で誕生した米の品種で、現在でも山田錦の全国生産の8割を超えています。



兵庫県の地図(赤色が播磨と言われる地域)

次頁へ続く↓↓

また、播磨出身の酒豪として有名なのは、かの黒田官兵衛配下の武将(24将)の一人「母里太兵衛」(もりたへえ 又は ぼりたへえ)という武将がいました。この母里太兵衛は、これまた酒豪で名が通っていた「福島正則」と酒呑み対決をし、見事勝利して名槍「日本号」を譲り受けたと言われています。(現在、この日本号は福岡市博物館に展示されています)

さて、現在でも播磨には20を超える酒蔵が存在しています。私自身、日本酒が好きで、播磨のほとんどのお酒を飲んだことがあります。実はまだ飲んだこともない品種も結構あります。今後、コンプリートするのが今の楽しみです。

兵庫県には多くの市町に乾杯条例というものがあり、その名も「地域のお酒で乾杯！ 条例」をご存知でしょうか？ (国税庁ホームページ [リンク](#)) このページでは近畿地方の乾杯条例の一覧が紹介されています。

(大阪国税局のページ)



もりりい

ステイホームが叫ばれている昨今、そんな歴史ある“播磨のお酒”を取り寄せて堪能してみてもどうでしょうか？ コタツに入って冷酒を飲むもよし、鍋やおでんと熱燗のゴールデンコンビを堪能するもよし。

最後に、播磨22市町で組織されている「播磨広域連携協議会」のイメージキャラクター「もりりい」を紹介します。

「もりりい」は前述した母里太兵衛をモデルにしたキャラクターで、どうしてもここに登場してもらいたくて、「姫路市企画政策推進室さん」にお願いし、使用許諾をいただきました。

ご意見、ご感想、叱咤激励(叱咤は少なめでお願いします)も、お待ちしております。

姫路iParkってこんなところですよ！

グローバル研究開発Gr いわたさん

今回は私の所属するダイセルのイノベーションパーク(通称iPark(アイパーク))をご紹介します。

iParkは、多様な技術者が密にやり取りしながら、新しい製品、新しい技術、新しい事業をいち早く創出することを目的とした拠点です。かつては「総合研究所」という名の研究開発が主な目的の拠点でしたが、研究開発だけでなく、工場モノづくりをするための生産技術のグループ、研究所や工場設備の設計や保守を行うエンジニアリングのグループ、安全・環境面からモノづくりを考えるグループなど、「モノづくり」に熱いこだわりを持ったグループが一堂に集結して、約4年前にiParkに生まれ変わりました。



今号は3ページもあります！ 次頁へ続く↓↓

こんなご時世ではありますが、常々「コミュニケーション」を大切にして、グループの垣根なく誰でも！いつでも！気軽に！相談できる関係づくりを目指しています。

メンバーと知り合いたい

新しい関係づくりのための取り組みの1つが「フリーアドレス化」です。研究所だったときには、各グループの実験室の近くにそれぞれの居室があり、実験室と居室を行ったり来たりするだけで、用事がなければ他のグループの人に会うこともなく1日が過ぎていくこともしばしば。。。

しかし、iParkに生まれ変わってからは、実験室とは別の建物の中に仕切りのない執務エリアが設けられ、そこが全グループ共通の居室になっています。そのため、出社するだけでたくさんの人と顔を合わせるようになります。フロア内は各個人に決まった席はなく、毎日好きな場所を自分で選んで仕事に取組みます。

グループが違う人が集まってテーブルを囲んだり、座り心地の違う椅子を狙って席を決めたり、1人集中したいときにはパーティーションに囲まれたすみこの席にこもったり・・・と、執務エリアはどこでも自由に過ごすことのできる空間になっています。

「容量の単位といえば μL か mL 」の研究者と、「貯蔵タンク $○○○\text{m}^3$ 」と書かれた図面を確認しているプラントエンジニアリングの技術者が、1つの同じテーブルで向かい合って仕事をしているのも、iParkならではの風景ではないかと思います。そして、席が近いだけでも、なんとなく顔や名前を覚えて、なんとなく知り合いになった気がして、なんとなくPCの使い方を聞いたりして、なんとなく雑談して、コミュニケーションのきっかけが生まれています。

執務エリア内にはコミュニケーションスペースもあって、リラックスしながら語り合うこともできます。会議室での打合せとなるとしっかり準備して熱い議論を交わすイメージですが、コミュニケーションスペースならふと思いついたようなことでも気軽に相談できたりします。



フリーアドレスの他にもコミュニケーションが生まれたい深められる様々な取り組みがなされています。例えば、最近では色々な部門メンバーで構成されるYouTuber軍団が現れました。

(興味のある方は(ない方も)こちらをぜひ
→<https://www.youtube.com/playlist?list=PLuEmknGx37EKrKfsvJ5OPsaGBhj6A9Xdl>)

こんな風にiParkでは、横のつながりを広げてたくさんの人を巻き込み、社会に役立つ安全な製品をいち早く創り出せるよう、日々奮闘しています。

発行元: 株式会社ダイセル CPIカンパニー

〔東京〕 〒108-8230 東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル
TEL: 03-6711-8222 FAX: 03-6711-8228

〔大阪〕 〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワーB
TEL: 06-7639-7221 FAX: 06-7639-7228

ヘルプデスク フリーダイヤル: 0120-780-104 HP: <https://www.daicelchiral.com/>